

自立支援事業

ったり、「いろは」に通えるようになったり……。

金森 「いろは」の強みは、訪問するスタッフが通所のスタッフも兼ねていることです。つまり、利用者は訪問を重ねる中で信頼関係を育めたスタッフがいる場所であれば、勇気を出して通所されるようになり、そこから他の人にも信頼関係を広げて利用者の方が望む生活を送っていただけるよう、次のステップへと結びつけていきます。環境や人の変化に対して不安が強い方にとって、場所が変わっても関わる人が変わらないことがいろはの強みだと思います。

Q 「いろは」では、いろいろなイベントを行うそうですね。

北澤 はい。みなさんで菓子作りをしたり、小さな農園で野菜を作ったり、そこで収穫した野菜をお昼ごはんに使ってみんなで食べたり……。あとはクリスマスとか、お正月の餅つき大会など、いろんな季節のイベントを行います。

「いろは」の利用を必要としている精神障害を持つ利用者の方は、地域の人たちとのつながりが乏しいですし、みなと一緒に楽しむこと自体が苦手な方も多いいんです。「いろは」で行うイベントを通じて、そういうことに慣れていただくという意味で行っています。それも、通所される方々の意見を聞いて、利用者の方が希望されたことをします。生活訓練の場ではありませんが、まずは生活を楽しんでいただけるように心がけています。

Q そうした訓練を経て、就労していくケースもあるわけですね。

北澤 そうですね。どの利用者の方も「いろは」を卒業された後は希望された活動の場所に移って行かれます。就労といっても就労継続支援A型およびB型、「ワ

ークネットきょうと」のような就労移行支援事業所などさまざまです。中には卒業後も「いろは」に関わりたいという利用者もおられます。そういった方の中には、同じ病気を抱えるピアサポート・スタッフとして「いろは」で活動される方もいます。

Q 精神障害者の方の就労は、単にお金を得ることだけが目的ではなく、生き甲斐を得るという意味でも重要なのではないのでしょうか？

金森 おっしゃるとおりです。働いていないことで社会に対して、強い負い目を感じてしまつて、自己肯定感の低い方が多いのです。たとえば、「同窓会の誘いがあつても行けない」とおっしゃる方がいます。「同級生たちは勤め先でもそれなりの立場になっているのに、自分は何もやっていないから恥ずかしい」と……。就労することは、自己肯定感を高め、社会とのつながりを持つためにも重要だと思っています。

北澤 就職できて仕事がつましくいと、それまでとは表情もまったく違って、いきいきとされます。私が担当したある女性は、就職が決まったあとに恋人とも順調に交際され、結婚に至つて……と、人生すべてがいい方向に変わっていききました。

Q その意味で、「ワークネットきょうと」も「いろは」も、利用者に生き甲斐を感じさせるという意義深い役割を果たされているんですね。

ありがとうございました。



取材と原稿／前原政之（まえはらまさゆき）

1964年 栃木県生まれ。1年のみの編プロ勤務を経て、87年 23歳でフリーに。ライター歴30年。

ワークネットきょうと



働きたい気持ちのある精神障害をお持ちの方に対して、一般就労を目指した支援を提供する事業所です。就業にともなう様々な生活技法の支援や各種訓練、職場実習などを提供し、一般就労を実現すると共に、さらには職場定着を図ることによって、ご本人の自立に寄与することを目的としています。

就職したいと思われる方、訓練を受けてみたい方、事業所に興味のある方は、まずは当事業所に電話等でご連絡ください。当事業所に来ていただく日程を調整し、相談を行います。

● 住所／宇治市五ヶ庄新開 11-23 受付／Tel. 0774-38-0111 Fax. 0774-38-0151 (担当：金森)

生活訓練いろは



精神障害のある方の地域生活を支えるための、訪問や外出同行により生活支援を行なう他、少人数の通所施設では、調理やレクリエーションなどで生活支援を行なっています。訪問・通所両方でも利用可能です。

● 住所／宇治市五ヶ庄新開 11-23 ワークネットきょうと 2F

● 受付／Tel. 0774-38-0111 Fax. 0774-38-0151 (担当：金森)

